

ビビンの会に参加して

社会人・匿名

私は今回で日韓アジア基金のイベントに参加するのは3回目となります。前回、前々回ともにニュースレター発送ボランティアスタッフとして参加しておりました。今回は日韓アジア交流・ビビンの会に、お客として参加しました。

全員が約6名のグループに分かれ、お茶とお菓子を摂りつつグループワークを行いました。

私のグループは韓国からの留学生が加わっていましたので「日本と韓国の違い」「韓流ブームの下火となっているわけ」などをテーマに話し合いました。

テーマに沿って話は盛り上がりましたが、それ以上にグループで盛り上がったのは自己紹介の時間でした。皆、年齢や職業が異なる面々で、質問が飛び交いました。私のグループは社会人4名、大学生2名でありました。大学生と話すのは実生活では機会がないため、とても新鮮でありました。私は学校を卒業して4年目ですが自身から外に出るように意識をしなければ、自宅と職場の往復で人間関係が限定されてしまうことを感じています。

3時間半ほどの短時間の活動でありますし、任意の参加、もしかすると一期一会の関係に終わるかもしれないと思うと寂しさはありますが、時間内は職場の人にも話したことないような個人的なことを話していました。

グループワーク後は、話し合ったテーマのまとめを他グループに発表する時間を設けられていました。私のグループは全員が前に出て発表を行いました。誰もが小学校や中学校で行ってきた発表スタイルです。懐かしさを感じました。

終了後、正直メールアドレスを交換するには、まだ遠慮はありましたが、今はFacebookなどのツールもあって、グループの皆とは繋がる事が出来ています。

今後もこのような交流会を始め、ボランティアなどの情報についてFacebookを通じて連絡を取り合い、お互いの活動・活躍の場が増えることを願っております。